

経営比較分析表（令和5年度決算）

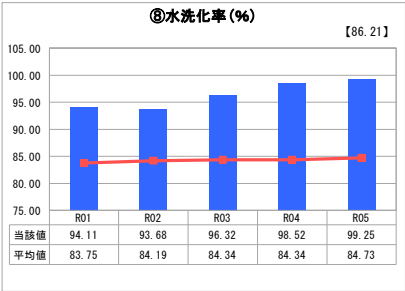
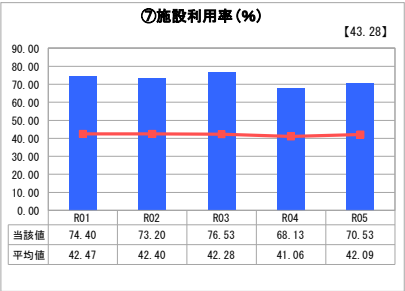
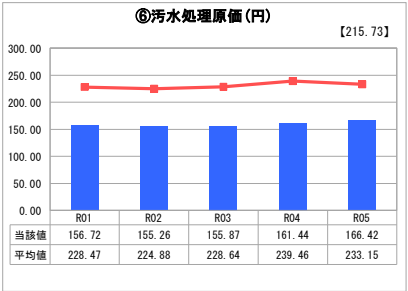
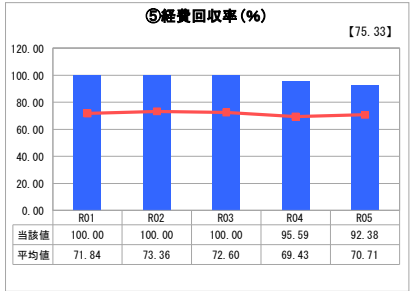
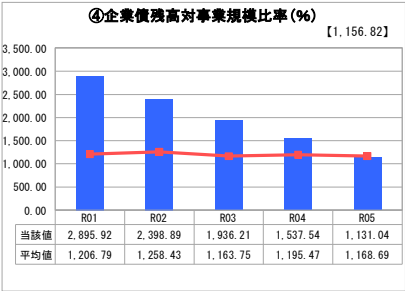
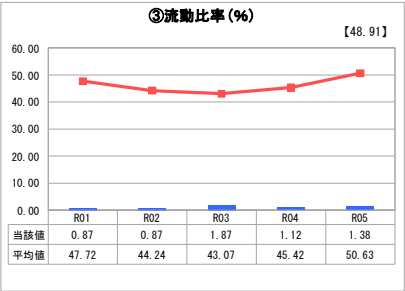
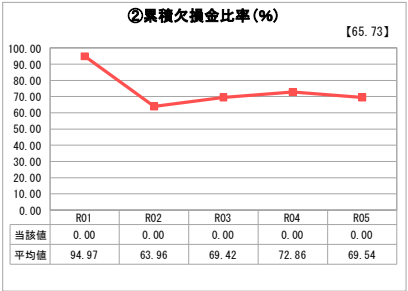
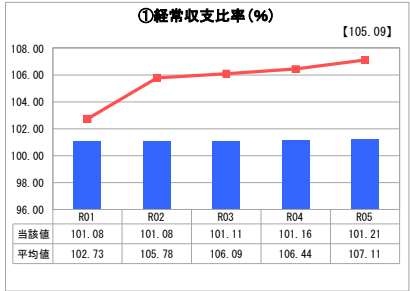
茨城県 水戸市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	84.28	0.40	60.83	2,989

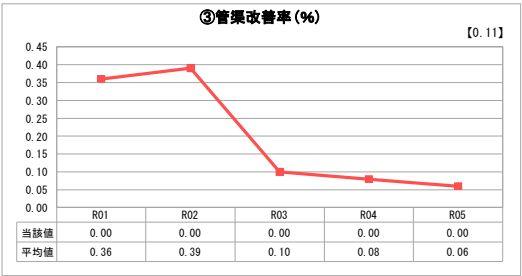
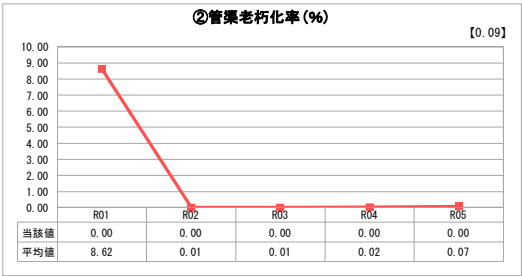
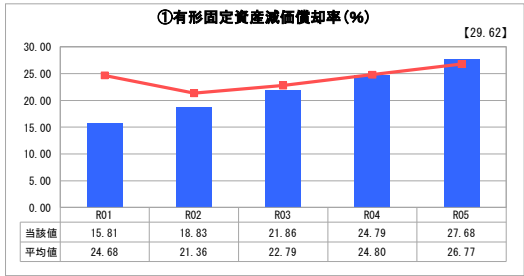
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
268,843	217.32	1,237.08
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,067	0.63	1,693.65

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
引き続き100%を超えているが、収益の約6割を一般会計補助金で賄っている。使用料収入の確保と維持管理費の削減に努めていく必要がある。

③流動比率
一般会計からの繰り入れは、当該年度に必要な分だけを繰り入れる方針としているため、年度末における流動資産が少なくなっている。

④企業債残高対事業規模比率
企業債の償還の進捗により、類似団体平均値と同程度の値となった。今後は、新たに整備を計画しているため、値が増加するものと見込まれる。値が過大に増加しないよう、引き続き適切な新規借入の管理に努める。

⑤経費回収率 ⑥汚水処理原価
維持管理費は微減となったものの、有収水量及び使用料収入も微減となったため、経費回収率及び汚水処理原価が悪化した。水洗化率は高い水準にあるため、維持管理費の削減に努めるとともに、使用料の水準について検討を行い、改善を図りたい。

⑦施設利用率 ⑧水洗化率
整備の完了から相当の年数が経過しており、施設利用率、水洗化率ともに類似団体平均値よりも高い数値となっている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
法適用からの経過年数が短いため、減価償却累計額が小さく、値も低くなっている。
本市の特定環境保全公共下水道事業では、減価償却の進行により毎年3%程度の増加ベースを維持しており、令和5年度においては類似団体平均値をわずかに上回った。

②管渠老朽化率 ③管渠改善率
特定環境保全下水道事業は、平成4年に事業を開始しており、管渠の耐用年数を経過していないため0%となっている。当面の間は、定期的に点検を実施し、機能保全に努める。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性について」は、経費の増加は落ち着いたものの、使用料収入の微減により、各経営指標が悪化した。使用料収入については、高い水洗化率を維持しているものの、総人口及び世帯当たり有収水量の減少がみられるため、今後も減少するものと考えられる。引き続き企業債残高の縮減を図りながら、経営基盤の強化に努め、将来にわたる安定的な事業体制を構築していく。

「2. 老朽化の状況について」は、耐用年数を経過した管渠がないため、現時点での老朽化の度合いや更新スケジュールを把握し、必要に応じて修繕工事を実施していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。